

一
問一
a
忠実
b
快適
c
誤解
d
根本
e
驚き

問二
ア
うおうさおう
イ
きようこう
ウ
ぜいたく
エ
もくよく

問三
①
連体詞
②
副詞
③
助詞(格助詞)
④
名詞

問四
自
分
の
旅
と
は
異
な
る
他
人
の
旅

問五
(例)
筆者は、日本人の若い旅行者が車夫と
対立している現場に遭遇した。若者は、約束
とは異なることを現や、体験ガイドに記
載されて
いないことを理由に割増料金の支払いを拒否
していた。これに對して筆者は、約束体験が
イドや約束ではなく、自身の感性や判断力に
基づき、想像力を働かせて對応すべきであ
ろ
うという立場を示している。

問六
ス
テ
レ
オ
タ
イ
プ

問七
筆者は、旅行ガイドの情報に従うだけの「他
人の旅」を批判し、想像力と「応用力」を
揮する自分の旅を奨励している。インドに
する「ステレオタイプ」を疑い、五感を活用
しながら現地を観察してインドの新しい姿を
確認するべきだと論じている。なお、そうし
て観察しインドも「本当のインド」の一部に
すぎないことを自覚し、「自分の体験」し
て、いないインドもあると理解すること
が必要だ
と、筆者は述べている。

二二

問一

a

機能

b

批判

c

営為

d

表裏

e

眺める

問二

エ

問三

戦

後

の

図

書

館

発

展

の

極

北

問四

「

勉

強

」

と

呼

ば

れ

る

よ

う

な

、

利

用

者

が

学

習

資

料

を

持

参

し

て

特

定

の

場

所

で

学

習

す

る

中

国

や

韓

国

に

も

み

ら

問五

ウ

オ

問六

か

つ

て

の

図

書

館

は

、

閉

架

式

が

中

心

で

直

接

利

用

で

き

資

料

が

少

な

く

、

暗

く

て

閉

鎖

的

で

堅

苦

し

い

場

で

あ

っ

た

が

、

一

九

七

〇

年

代

ご

ろ

か

ら

開

架

ス

ペ

ー

ス

に

多

く

の

資

料

資

料

が

置

か

由

に

閲

覧

で

き

、

資

料

を

貸

し

置

出

す

と

が

で

き

る

明

き

、

資

料

を

貸

し

置

出

。と

が

で

き

る

明

き

、

資

料

を

貸

し

置

出

う

そ

用

。と

が

で

き

る

明

き

、

資

料

を

貸